

令和4年度

学校説明会資料

矢向中学校ブロック共通目標

輝く未来を切り拓く、たくましい子どもを育てます。

新鶴見小学校教育目標

しんじる つなかる みちをひらく 新・鶴・見！



あえて「教育目標」にしたのは、
学校だけでなく地域・保護者と共
に達成する目標だからです。

教育目標

♡ しんじる



つながる



みちをひらく
新・鶴・見！

「しんじる」…自分を信じ、

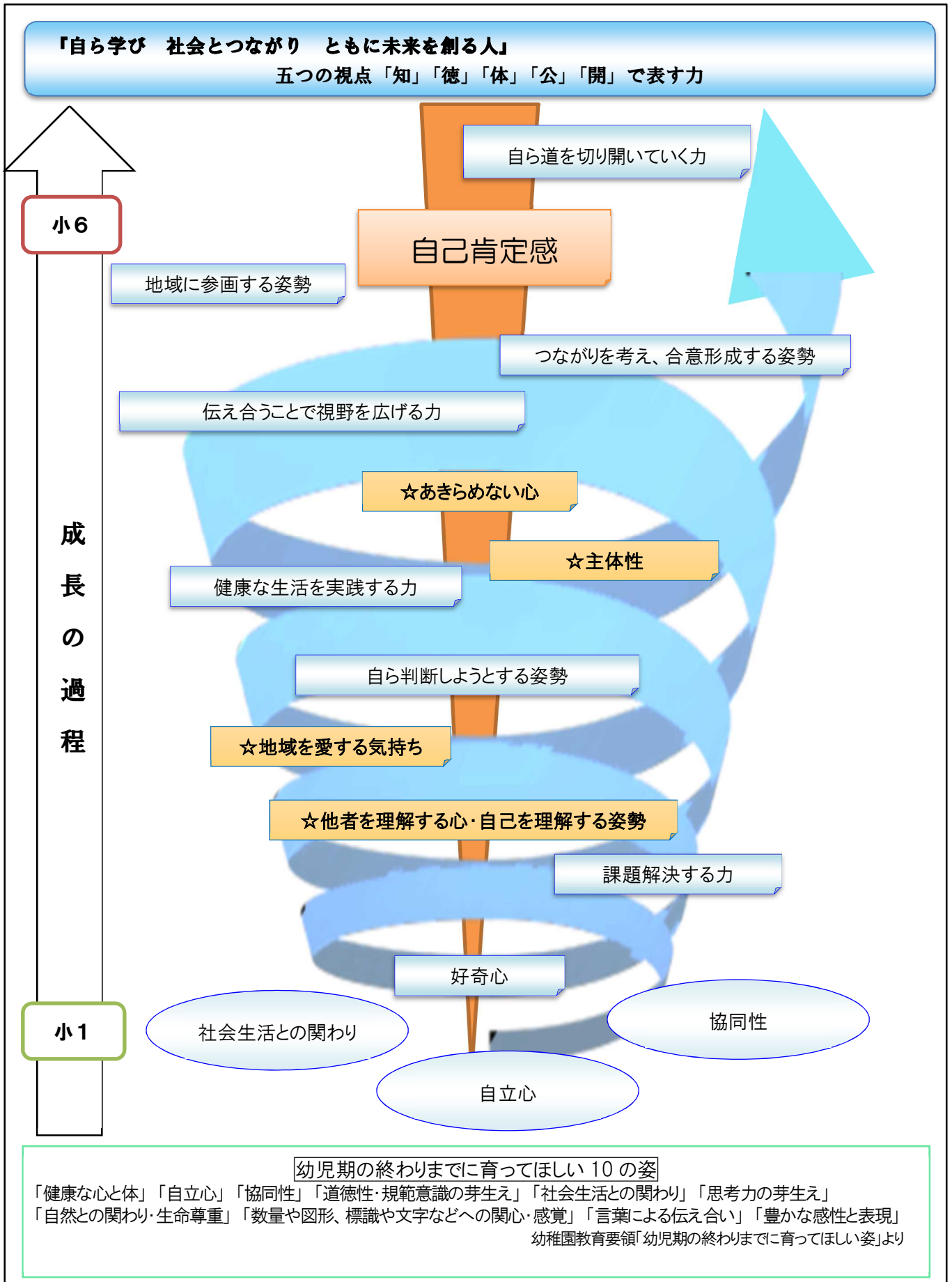
「つながる」…仲間と、地域とつながり、

「みちをひらく」…未知なる道を、自分たちの力で切り拓く子。

目指す子ども像

育てる心・体・力

- ①知：興味をもって、自ら進んで学習に取り組む力を育てます。
- ②徳：自ら判断する力と、人を思いやる心を育てます。
- ③体：自ら運動に親しみ、健やかな心と体を育てます。
- ④公：人とのつながりを大切にし、地域を愛する心を育てます。
- ⑤開：多様な考えを認め合い、共に生きていく力を育てます。



| | | | | | | |
|------|--|-----------|--------------------|-------|----------|-----------|
| 教育目標 | 「しんじる つながる みちをひらく 新・鶴・見！」 | | | | | |
| | ①興味をもって、自ら進んで学習に取り組む力を育てます。(知) ②自ら判断する力と、人を思いやる心を育てます。(徳) ③自ら運動に親しみ、すこやかな心と体を育てます。(体) ④人とのつながりを大切にし、地域を愛する心を育てます。(公) ⑤多様な考えを認め、共に生きていく力を育てます。(開) | | | | | |
| 学校概要 | 創立 27 周年 | 学校長 佐藤 朗子 | 副校長 石井 淳慈 | 2 学期制 | 一般学級: 28 | 個別支援学級: 7 |
| | 児童生徒数: 923 人 | | 主な関係校: 矢向中学校 矢向小学校 | | | |

| | | |
|------------------------|--------------------------|--|
| 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 | 矢向中 ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
| <自分づくりに関する力> | 矢向中学校 新鶴見小学校 矢向小学校 | 輝く未来を切り拓く、たくましい子 |
| | | (1)児童・生徒指導についての情報交換および研修会等 (2)小中学校での合同行事の実施等による児童生徒の交流活動の促進 (3)教科・領域での小中合同研究協議 (4)学習指導要領に沿った小中一貫カリキュラムに向けての教育実践 |

| | |
|----------------|--|
| 中期 取組 目標 | ○教育目標の実現に向けて、自分を信じ、仲間と地域とつながり、未知なる道を自分たちの力で切り拓く子どもの育成を目指します。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いや考えを大切にしながら授業を進めます。 ・誰もが安心して楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを見取り寄り添います。 ・地域の人たちとのつながりを意識し、豊かな体験を通して地域を愛する心を育てます。 |
|----------------|--|

| 重点取組分野 | | 具体的取組 |
|--------------------|---------------|--|
| 知 | 授業改善 | ①基礎・基本が身に付くように、既習を活用した授業づくりやスキルタイムを実施するとともに、習熟度に応じた支援を行う。 ②重点研究テーマを「自分の思いや考えを進んで伝え、考え合い、共に高め合おうとする子どもの育成」とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に、人と豊かに関わる力を育成する。 |
| 担当 | 教育課程・評価部 重点推進 | |
| 徳 | 道徳教育 | ①豊かな心の育成を目指して、道徳科を中心に各教科の学習において、自他を思いやる心を育てていくようにする。 ②全学級の道徳科授業公開を年一回以上行い、心の教育の実践について保護者に啓発していく。 |
| 担当 | 道徳部 | |
| 体 | 健康教育 食育 | ①体育部を中心に作成したカリキュラムを参考にし、学年間での連携を図りながら、授業に取り組んでいく。 ②規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、養護教諭と担任が連携しながら、保健学習の充実を図ったり、栄養教諭と担任が連携して食育教育を実施し、食に対する意識をさらに高めたりする。 |
| 担当 | 体育・食育部 | |
| 公開 | 地域学校 協働活動 | ①しんつるサポーターズ(地域学校協働本部)、スクールパートナーと連携し、計画的に保護者・地域人材を活用し、教育活動の充実を図る。年度初めに一括してボランティア登録をする仕組みをつくる。 ②学校運営協議会に様々な立場の教職員が出席し、学校の現状について意見交換するとともに、委員が授業や行事を参観する機会を設け、地域と共に歩む学校運営を目指す。 |
| 担当 | 教育活動部 | |
| いじめへの対応 | | ①いじめの未然防止のために、児童に関する組織的な情報共有やいじめアンケート等の取組を実施する。YPの効果的な活用について学び、実践につなげていく。 ②いじめやいじめにつながる案件について、基本方針に則り、迅速かつ丁寧に組織的な対応を行っていく。 |
| 担当 | 指導部 | |
| 人材育成・ 組織運営(働き方) | | ①定期的に主任・主幹会を設定し、校内の課題を持ち寄り解決方法を見出しながら、学校運営の改善や働き方改革につなげていく。 ②メンターチーム研修の自発的な取組を学校全体で支え、学習指導・児童支援の実践力向上を目指していく。 |
| 担当 | 主任・主幹会 メンター研 | |
| 特別支援教育 | | ①児童支援専任・特別支援コーディネーターを中心に組織的・計画的・継続的に支援していく。関係機関とも密に連携をとるとともに、支援の中長期的な見直しも図っていく。 ②個別支援の必要な児童の理解と、支援や交流学習の在り方について、教職員が共通認識をもって研修する。ユニバーサルデザインの視点を含め、授業づくりや支援の在り方について学ぶ。 |
| 担当 | 指導部 | |
| 人権教育 | | ①学級や学年、異学年集団において交流のしかたを工夫し、行事や活動を通じて子どもが人とのつながりを感じ、互いに認め合える集団作りを目指す。 ②人権週間にはSDGsを用いていくつかのテーマを共有し、視野を広げるとともに、人とのつながりの中から子ども同士が認め合い、自分も他の人も大切にできる取組を学級で行う。 |
| 担当 | 安心・安全部 | |

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

教育目標

「しんじる つながる みちをひらく 新・鶴見！」
①興味をもって、自ら進んで学習に取り組む力を育てます。(知)
②自ら判断する力と、人を思いやる心を育てます。(徳)
③自ら運動に親しみ、すこやかな心と体を育てます。(体)
④人とのつながりを大切に、地域を愛する心を育てます。(公)
⑤多様な考えを認め、共に生きていく力を育てます。(開)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

<自分づくりに関する力>

具体化した資質・能力

他者を理解する心・自己を理解する姿勢
地域を愛する気持ち 主体性 あきらめない心
↓
自己肯定感

中期取組目標

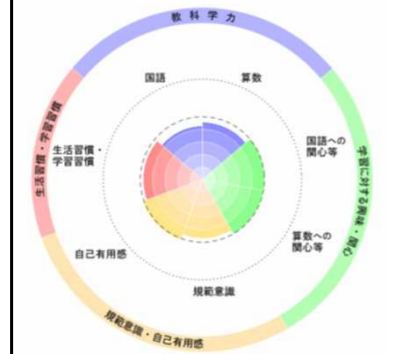
○教育目標の実現に向けて、自分を信じ、仲間と地域とつながり、未知なる道を自分たちの力で切り拓く子どもの育成を目指します。
・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いや考えを大切にしながら授業を進めます。
・誰もが安心して楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを見取り寄り添います。
・地域の人たちとのつながりを意識し、豊かな体験を通して地域を愛する心を育てます。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (授業改善) and 具体的取組 (基礎・基本が身に付くように、既習を活用した授業づくりやスキルタイムを実施するとともに、習熟度に応じた支援を行う。)

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童の実態
※全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より



(2)これまでの学校の取組状況
・スキルタイムを通して基礎・基本の定着を図った。
・重点研究を通して、問題解決的な学習の成立を目指した。学ぶ意欲を高めるとともに、学び方を知り、学びの深め方を追究できる可能性を探った。

今年度の目標

自分の思いや考えを進んで伝え、考え合い、共に高め合おうとする子どもの育成

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期 (Specific action plans for the first half of the year) and 下半期 (Specific action plans for the second half of the year).

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (道徳教育) and 具体的取組 (豊かな心の育成を目指して、道徳科を中心に各教科の学習において、自他を思いやる心を育てていくようにする。)

豊かな心に関わる本校の状況

本校の児童は、素直で落ち着いて穏やかに学校生活を過ごしている。

進んで挨拶をする児童が増えてきたが、他とのコミュニケーションを図ろうとする意欲はやや消極的である。

個性の尊重、地域・社会の一員として自発的に行動できるよう取り組んでいる。

今年度の目標

○自他を思いやる心を育てる。
○子どもが人とのつながりを感じ、互いに認め合える集団作りを目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

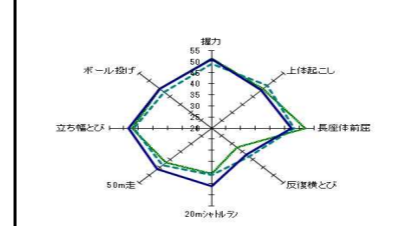
Table with 2 columns: 上半期 (Action plans for the first half) and 下半期 (Action plans for the second half).

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健康教育 食育) and 具体的取組 (体育部を中心に作成したカリキュラムを参考にし、学年間での連携を図りながら、授業に取り組んでいく。)

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる児童生徒の実態
○横浜市学力・学習意識調査では、「体を動かすことが好きだ」と回答した割合が市の平均と同程度いる。朝食の有無や睡眠時間については平均以上であり、適切な生活習慣への意識が各家庭にある。



(2)これまでの学校の取組状況
○体育科では、児童が運動の楽しさや特性を理解して取り組めるよう指導してきた。毎年カリキュラムの見直しや教材の工夫を行い改善に努めている。

今年度の目標

○教職員が体力・運動の課題について共通認識をもち授業や体育的行事に取り組むことで、児童の運動する意欲や体力を向上させる。
○児童が食に興味をもち、健康のためにバランスの良い食生活を実践するための具体的なめあてを決めて、主体的に食生活を改善したり、よい食習慣を継続したりする。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期 (Action plans for the first half) and 下半期 (Action plans for the second half).

令和4年度 重点研究全体計画

矢向中ブロック 9年間で育てたい子ども像
「輝く未来を切り拓くたくましい子」

新鶴見小学校教育目標
「しんじる つながる みちをひらく 新・鶴・見！」

【研究主題・部会テーマ】

「自分の思いや考えを進んで伝え、考え合い、
共に高め合おうとする子どもの育成」

生活科・総合的な学習の時間を中心とし、学校が子どもたちにとって「明日も行きたい楽しい場所」になることを目指していく。すべての子どもが目の前の課題を自分ごととして捉え、対象と繰り返し関わるなかで、生き生きと主体的に活動しようとする姿を育てていきたいと考える。

【研究の視点】

1. 単元構想

(1) 材の吟味（何で学ぶか・何と学ぶか・何から学ぶか）

材が子どもにとって繰り返し関わることのできる身近なものであること、子どもが思いや願いをもつことのできる魅力的なものであること、探究的な追究に耐えうる価値のあるものとなる材を選定する。

(2) 単元で育てたい資質・能力の明確化

生活科においては学習指導要領に示された目標と9つの内容をもとに、総合的な学習の時間においては、教育目標及び内容（探究課題、資質・能力）を拠り所として、単元で育てたい資質・能力を分析し、明確にしていく。

2. 授業づくり

(1) 前時までの子どもの見取りに基づく期待する姿の設定

1時間ごとの授業づくりにおいては、子どもがどのような思いや願いをもっているか、どのようなことに気付いているか、どのように思考しているか、ということを見取り、それをもとに、1時間を通して期待する姿を考える。

特に、振り返りについては、教師が一人ひとりの変容を見取り、次時への活動へとつなげていくためにも、また、子どもが自身の変容や成長に気付いたり、次の学習活動への意欲を高めたりしていくためにも重要である。

(2) 期待する姿に向けた教師の手立て

期待する子どもの姿に迫るために、教師は何をすべきか、1時間の授業をどのように展開するかを明確にしていく。その際には、教師の「出」と「待ち」、発問、学習集団の作り方、場の設定、掲示する資料、取り上げる子どもの気付き、板書の構造等、多様な視点から考えていく。

いじめ防止に向けての取組

○いじめの定義（H25～）について

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

○いじめを防止するための基本的な方向性

<いじめの未然防止>

- ・子どもが主体的に取り組み、自ら課題を解決しているように学習展開を工夫するとともに、友達と学びあう中で自己有用感を感じられるような授業作りを進める。
- ・児童の豊かな情操と道徳心を培い、心通う人間関係の構築を目指し、全ての教育活動を通じた人権教育、道徳教育及び体験活動等の充実を図る。
- ・児童運営委員会・人権委員会を中心とした、児童主体のいじめ防止への取組を支援、推進する。

<早期発見・早期対応>

- ・児童及び保護者がいじめに係る相談を行える体制の整備を行う。（アンケート、個人面談など）
- ・いじめの早期発見につなげるために、子ども・職員共にいじめを見逃さない風土を作る。
- ・いじめを早期発見、早期対応できるよう教職員の資質の向上を目指し、研修会・研究会等を充実させ、情報共有を密に行う。

<適切な処置・措置>

- ・いじめ防止対策委員会を開き、事実を明確にして必要な指導を行い、再発防止に向けて取り組む。
- ・いじめへの対応は教職員の共通理解、保護者の協力、関係機関、専門機関との連携の下で取り組む。

○いじめ根絶に向けて

新鶴見小学校教育目標の実現とともにいじめの根絶を目指し、「だれもが安心して豊かに」生活できる学校・地域づくりに向けて、学校、家庭、地域が一体となっていじめ防止に取り組む。

